

《会社 支店のご紹介》

～札幌支店～



渡辺支店長

札幌支店は雪まつりで有名な札幌市中央区の中心部にある大通公園に面したビルを拠点とし、広大な「試される大地」、北海道全域を担当しております。

当支店は社員11名(営業部3名・工事部7名・事務員1名)にて、場所打ちコンクリート杭、回転杭(NSエコパイル)、山留工事、アンカー工事他、多種工事を営業しております。そのため各部署、各業種ともに密なる情報交換は必要不可欠であり、支店長のもと社員一同一致団結している風通しの良い職場環境です。そんな当支店の悩みは最年少の社員が40代ということで、若返りが求められております。

北海道の特色としては、冬の過酷さに尽きると思います。現場では朝の気温は大抵-5℃、日中でも0℃になれば暖かい方です。夜には-10℃を下回る地域もある為、プラント内の安定液や清水の凍結、溶接作業時の温度管理や養生方法、機械の凍結による故障や破損等、夏にはない対策や気配りが必要になります。

夏の暑い時期は2か月ほどなので、滅多にない30℃を越える日は嬉しく思えます(個人差はありますが、、、)。東京から現場の応援に来て下さる方々の方が夏は暑がり、春先や秋口は我々北海道民の方が寒がりだと感じます。

～仙台支店～



新山支店長

仙台支店は仙台市青葉区の県庁に近いビルを拠点とし、東北6県全域を担当しております。

当支店は社員14名(営業部3名・工事部8名・工務部・事務員3名)にて、主に場所打ちコンクリート杭を営業しております。

当支店は現場を第一に考え、安全、工程、品質を確保し、東北地方のシェアは基礎工事部門で一番との誇りを持って、当支店社員一同一致団結して頑張っております。

2011年3月11日は東日本大震災が発生し、その後の津波を含めて大惨事となりました。この写真は同年4月7日に発生した余震の時の写真です。3月11日と同じく当支店の中が大変な状況になっていました。



最近では復興中心の仕事が多く、社員一同一丸となって復興支援および安全と品質の良い施工に努めております。

小樽市某現場施工状況



(2月にはプラントが埋まるまで雪が積もり、1.5m程度の積雪がありました。)

NHKのテレビ(朝ドラ)でおなじみの岩手県久慈市小袖、海女センターが昨年の暮れに完成し、その強固な岩盤の中に当社施工の杭(全周回転オールケーシング工法)が使用され前回以上の津波が来ても避難タワーとして利用されるとの事です。(ちなみに私、新山の故郷です。)

